

2. 「第二次検定」受検対象者と受検資格区分(新受検資格)及び必要な情報等

- (1) 以下の【受検資格区分1・2】のいずれかに該当し、所定の実務経験年数を有する者が受検できます。複数に該当する場合は、いずれかを選択してください。
- (2) 「個人ページ」に登録された実務経験が受検資格を満たしていない場合、申込みは完了できません。
- (3) 自身がどの受検資格を満たすか確認の上で、「個人ページ」に登録する実務経験は、必要な資格合格後の実務経験を登録してください。
- (4) 実務経験の内容については、「3. 実務経験について(4～9 ページ)」を参照してください。
- (5) 再受検申込者は18 ページを参照してください。

管工事施工管理に関する必要な実務経験年数		受検申込時に必要となる情報		
		受検資格区分に応じて必要な情報 (11ページを参照)	全員が必要な書類 (10ページを参照)	受検資格区分に応じてアップロードが必要となる書類(12ページを参照)
【受検資格区分1】 1級管工事施工管理技術検定第一次検定合格者				
1-①	1級 第一次検定合格後の実務経験5年以上	・ 1級第一次検定合格番号(もしくは合格時の受検番号)及び合格年度	・ 住民票コード ・ 顔写真データ (JPEG形式)	—
1-②	1級 第一次検定合格後の特定実務経験(※1)1年以上を含む実務経験3年以上			・ 施工体制台帳(写) (PDF形式、JPEG形式)
1-③	1級 第一次検定合格後の監理技術者補佐としての実務経験(※2)1年以上			
【受検資格区分2】 2級管工事施工管理技術検定第二次検定合格者で、かつ、1級管工事施工管理技術検定第一次検定合格者				
2-①	2級 第二次検定(旧実地試験含む)合格後の実務経験5年以上 (令和8年度の該当者は令和2年度までの合格者)	・ 1級第一次検定合格番号(もしくは合格時の受検番号)及び合格年度	・ 住民票コード ・ 顔写真データ (JPEG形式)	—
2-②	2級 第二次検定(旧実地試験含む)合格後の特定実務経験1年以上を含む実務経験3年以上 (令和8年度の該当者は令和4年度までの合格者)	・ 2級第二次検定合格番号(もしくは合格時の受検番号)及び合格年度		

(注意) 申込後の検定区分及び新・旧の受検資格区分等の変更はできません。

※1 特定実務経験については15 ページを参照(【受検資格区分】1-②・2-②のみ)

※2 監理技術者補佐としての実務経験については16 ページを参照(【受検資格区分】1-③のみ)